第２回　出雲市介護保険運営協議会

日　時　　令和元年１１月１４日（木）
　　１４：００～１６：００
場　所　　市役所　３階　庁議室

１．健康福祉部長あいさつ

２．会長あいさつ

３．議事

（１）第８期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定準備について　（資料１）

（２）第７期計画に係る成果指標の一部見直しについて　（資料２）

４．報告事項

（１）介護人材確保・定着に係る施策に関するアンケート集計結果について
（資料３）

（２）あんしんノート（出雲市版終活支援ノート）の配布について　（資料４）

（３）「認知症ケア・フォーラムｉｎいずも」の開催について　（チラシ）

５．その他

出雲市介護保険運営協議会　（令和元年度～令和２年度）

	No.	氏　名	所　　属	備　考
	1	嵐谷　直美	第二号被保険者代表	再任
	2	飯國　吉子	第二号被保険者代表	再任
	3	飯塚　勉	出雲市民生委員児童委員協議会	再任
	4	磯田　洋平	出雲地域介護支援専門員協会	★新任
	5	岩﨑　陽	出雲市歯科医師会	再任
	6	加藤　哲夫	出雲市介護認定審査会	再任
	7	是光　章一	第一号被保険者代表（出雲）	★新任
○	8	齋藤　茂子	島根県立大学出雲キャンパス	再任
	9	白築　明子	ＪＡしまね出雲地区本部ふれあい福祉課	★新任 令和元年9月～
◎	10	塩飽　邦憲	島根大学	再任
	11	須谷　生男	出雲医師会	再任
	12	高橋　幸男	出雲医師会	再任
	13	竹内　一子	出雲地域介護保険サービス事業者連絡会（居宅サービス）	再任
	14	多田　好江	出雲地域介護保険サービス事業者連絡会（施設サービス）	★新任
	15	永島　真奈美	出雲地域介護保険サービス事業者連絡会（地域密着ｻｰﾋﾞｽ）	★新任
○	16	中山　博識	島根県医師会	再任
	17	原　　洋子	第一号被保険者代表（大社）	★新任
	18	福場　由紀子	在宅福祉サービス団体代表	再任
	19	祝部　裕子	出雲高齢者あんしん支援センター	再任
	20	牧野　由美子	島根県出雲保健所	再任
	21	松浦　久美子	第一号被保険者代表（平田）	★新任
	22	松本　弘	第一号被保険者代表（出雲）	再任
	23	三原　順子	第一号被保険者代表（多伎・佐田・湖陵）	★新任
	24	山崎　文夫	第一号被保険者代表（斐川）	再任
	25	渡部　雅人	出雲市社会福祉協議会	★新任

◎会長　○副会長　　名簿は50音順

議事

（1）第8期高齢者福祉計画・介護保険事業
　　計画の策定準備について　　（資料1）

（2）第7期計画に係る成果指標の一部見直
　　しについて　　（資料2）

資料１

第８期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定準備について

高齢者福祉計画・介護保険事業計画（以下「計画」）は、介護保険法に基づき3年間を1期として策定するものであり、計画に基づいて介護保険事業を運営しています。

令和2年度は、第7期計画の最終年度であり、第8期計画（令和3年度～令和5年度）の策定年度となります。

そのため、本年度には第8期計画の策定の準備にあたり、下記のとおり、日常生活圏域ごとに被保険者の心身の状況、その置かれている環境などを把握するため、二つの調査を実施します。

記

１．令和元年度に実施する調査

① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査　（別紙１）

② 在宅介護実態調査　（別紙2）

２．今後のスケジュール

現段階における第8期計画策定に向けてのスケジュール（案）　（別紙3）

（別紙１）

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

１　目的

・要介護状態となる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定し、計画に反映すること

・介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用すること

２　実施時期

令和２年１月

３　対象者

一般高齢者、事業対象者、要支援１、要支援２

４　調査対象者数

前回調査時に回答のあった方を対象（約５，０００人）

５　調査方法

郵送による配布・回収

６　調査項目

（１）国が定める調査項目（４１項目）

※今回の調査で新たに追加された項目　問５（１）⑤、問８（１）、（２）

（２）市独自項目（１３項目）

※調査票　別紙参照

７　スケジュール

令和２年１月	調査票発送
令和２年１月	調査票回収
令和２年２月～３月	調査票集計
令和２年４月	分析

８　分析

厚生労働省へデータ送付

市独自分析

（宛名ラベル）

第 8 期

郵送

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【調査票】

- **調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。**
- **調査票記入後は、３つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、**
  ＿＿月＿＿日（　）までに投函してください。

記 入 日	令和　　年　　月　　日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
１．あて名のご本人が記入 ２．ご家族が記入 （あて名のご本人からみた続柄　　） ３．その他	

＿＿＿＿（市・町・村）＿＿＿＿課

＿＿＿＿係

＿＿＿＿圏域

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は，効果的な介護予防政策を実施するために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

問１　あなたのご家族や生活状況について

（１）家族構成をお教えください

１．１人暮らし　　２．夫婦２人暮らし(配偶者 65 歳以上)

３．夫婦２人暮らし(配偶者 64 歳以下)　　４．息子・娘との２世帯

５．その他

（２）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

１．介護・介助は必要ない　　２．何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

３．現在、何らかの介護を受けている
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

【（２）において「1．介護・介助は必要ない」以外の方のみ】
① 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

１．家族　　２．地域のボランティア　　３．介護サービスのヘルパー

４．介護施設の職員　　５．その他（　　）

（３）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

１．大変苦しい　　２．やや苦しい　　３．ふつう

４．ややゆとりがある　　５．大変ゆとりがある

（４）お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

１．持家（一戸建て）　　２．持家（集合住宅）

３．公営賃貸住宅（こうえいちんたいじゅうたく）　　４．民間賃貸住宅（みんかんちんたいじゅうたく）（一戸建て）

５．民間賃貸住宅（みんかんちんたいじゅうたく）（集合住宅）　　６．借家

７．その他

（５）要介護状態などで長期の療養が必要となった時、主にどこで過ごしたいですか

１．自宅　２．特別養護老人ホームなどの介護施設　３．病院　４．その他

【（５）で「１．自宅」以外を選択された方のみ】

① 理由は何ですか（いくつでも）

１．家族に負担や迷惑をかけるから

２．家族が仕事を辞めないといけなくなるから（家族が仕事と介護が両立できないから）

３．介護してくれる家族がいないから

４．急に病状が変わったときの対応が不安だから

５．費用等の経済的に負担が大きいから

６．療養できる部屋や風呂・トイレなどの住宅環境が整っていないから

７．自宅では自身が望む十分な医療や介護を受けられないから

８．医師や看護師等の訪問が精神的負担になるから

９．その他（　　）

（６）あなたが、がんなどの病気で人生の最終段階を迎えるときがきた場合、最期はどこで過ごしたいですか

１．自宅　２．特別養護老人ホームなどの介護施設

３．病院で継続入院　４．　緩和ケア病棟（※）

５．その他（　　）

※緩和ケア病棟は、がんによるつらい症状を和らげるための専門的な治療（緩和ケア）を行う病棟のことで、病院の機能を持ちながら、皆様の家にできるだけ近い環境が整備されています。（出典：しまねがんサポートブックより抜粋）

問２　からだを動かすことについて

（１）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（３）15 分位続けて歩いていますか

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（４）過去１年間に転んだ経験がありますか

１．何度もある　　２．１度ある　　３．ない

（５）転倒に対する不安は大きいですか

１．とても不安である　２．やや不安である　３．あまり不安でない　４．不安でない

（６）週に１回以上は外出していますか

１．ほとんど外出しない　　２．週１回　　３．週 2～4 回　　４．週 5 回以上

（７）昨年と比べて外出の回数が減っていますか

１．とても減っている　　２．減っている

３．あまり減っていない　　４．減っていない

（８）外出を控えていますか

１．はい　　２．いいえ

【（８）で「１．はい」（外出を控えている）の方のみ】

① 外出を控えている主な理由は、次のどれですか

１．病気	２．足腰などの痛み
３．トイレの心配(失禁など)	４．耳の障がい（聞こえの問題など）
５．目の障がい	６．外での楽しみがない
７．経済的に出られない	８．交通手段がない
９．家の前が坂道で出られない	１０．　その他（　　）

（９）外出する際の主な移動手段は何ですか

１．徒歩	２．自転車	３．バイク
４．自動車（自分で運転）	５．自動車（人に乗せてもらう）	６．電車
７．路線バス	８．病院や施設のバス	９．車いす
１０．電動車いす（カート）	１１．歩行器・シルバーカー	
１２．タクシー	１３．その他（　　）	

問３　食べることについて

（１）身長・体重

身長 [　][　][　] cm　　体重 [　][　][　] kg

（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

１．はい　　２．いいえ

（３）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

１．自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用　２．自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし

３．自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用　４．自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

（４）どなたかと食事をともにする機会はありますか

１．毎日ある　　２．週に何度かある　　３．月に何度かある

４．年に何度かある　　５．ほとんどない

（５）年１回以上、歯科医院で定期受診していますか

１．はい　　２．いいえ

（６）毎日 2 回以上は、主菜（お肉またはお魚）と野菜料理を両方とも食べていますか

１．はい　　２．いいえ

（７）６か月間で２～３kg 以上の体重減少がありましたか

１．はい　　２．いいえ

問４　毎日の生活について

（１）物忘れが多いと感じますか

１．はい　　２．いいえ

（２）バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（３）自分で食品・日用品の買物をしていますか

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（４）自分で食事の用意をしていますか

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（５）自分で請求書の支払いをしていますか

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（６）自分で預貯金の出し入れをしていますか

１．できるし、している　　２．できるけどしていない　　３．できない

（７）普段、農作業を行っていますか

１．週に２～３日以上　　２．週に１日　　３．月に1～3 日　　４．していない

問５　地域での活動について

（１）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※①－⑧それぞれに回答してください

	週４回以上	週２～3 回	週１回	月１～3 回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ （[介護予防のための通いの場等について各市町村が使っている名称（通いの場が何種類かある場合は列挙する）を入れる]など）介護予防のための通いの場				4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

⑤の赤字部分には、調査を実施する市町村が推進している介護予防のための通いの場等について、調査対象者が回答しやすいよう、各市町村が使っている名称を入れて調査します。

（２）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1．是非参加したい　　2．参加してもよい　　3．参加したくない　　4．既に参加している

（３）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

1．是非参加したい　　2．参加してもよい　　3．参加したくない　　4．既に参加している

問６ たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

（１）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども

４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人

７．その他（　　）　８．そのような人はいない

（２）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども

４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人

７．その他（　　）　８．そのような人はいない

（３）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども

４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人

７．その他（　　）　８．そのような人はいない

（４）反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

１．配偶者　２．同居の子ども　３．別居の子ども

４．兄弟姉妹・親戚・親・孫　５．近隣　６．友人

７．その他（　　）　８．そのような人はいない

（５）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

１．毎日ある　２．週に何度かある　３．月に何度かある

４．年に何度かある　５．ほとんどない

（６）普段の生活で困りごとがありますか

１．はい　　２．いいえ

【（６）で「１．はい」の方のみ】

① 困りごとがある理由は、次のどれですか（いくつでも）

１．食事　　２．買い物

３．通院　　４．　ゴミ出し

５．町内活動　　６．その他（　　）

（７）まわりの人の困りごとをお手伝いしてあげることができますか

１．はい　　２．いいえ

問７　健康について

（１）現在のあなたの健康状態はいかがですか

１．とてもよい　　２．まあよい　　３．あまりよくない　　４．よくない

（２）あなたは、現在どの程度幸せですか
（「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください）

とても不幸										とても幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

（３）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

１．はい　　２．いいえ

（４）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

１．はい　　２．いいえ

（５）タバコは吸っていますか

１．ほぼ毎日吸っている　　２．時々吸っている　　３．吸っていたがやめ

４．もともと吸っていない

（６）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

１．ない　　２．高血圧　　３．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）

４．心臓病　　５．糖尿病　　６．高脂血症（脂質異常）

７．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）　　８．胃腸・肝臓・胆のうの病気

９．腎臓・前立腺の病気　　10．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）

11．外傷（転倒・骨折等）　　12．がん（悪性新生物）　　13．血液・免疫の病気

14．うつ病　　15．認知症(アルツハイマー病等)　　16．パーキンソン病

17．目の病気　　18．耳の病気　　19．その他（　　）

（7）介護・介助が必要になった方の主な原因はなんですか（いくつでも）

1．脳卒中（脳出血･脳梗塞等）　2．心臓病　3．がん（悪性新生物）

4．呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）　5．関節の病気（リウマチ等）

6．認知症(アルツハイマー病等)　7．パーキンソン病　8．糖尿病

9．腎疾患（透析）　10．視覚・聴覚障がい　11．骨折・転倒

12．脊椎損傷　13．高齢による衰弱　14．その他（　　）

15．不明　16．介護・介助は必要ない

（8）家又は部屋に閉じこもり気味だと感じますか

1．はい　2．いいえ

【（8）で「1．はい」の方のみ】

① 困りごとがある理由は、次のどれですか（いくつでも）

1．腰・ひざの痛み　2．交通手段がない

3．耳が聞こえにくい　4．出かける気になれない

5．友人がいない　6．その他（　　）

問8　認知症にかかる相談窓口の把握について

（1）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1．はい　2．いいえ

（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか

1．はい　2．いいえ

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

（別紙２）

在宅介護実態調査

１．目的

現在国において、一億総活躍社会の実現を目指し、「2020 年代初頭にやむを得ず介護を理由に離職される方をなくす」という目標が掲げられているところです。

これを受け、本市第 8 期事業計画においては、従来の「地域包括ケアの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」という観点も含めて、サービスの種類ごとの「量の見込み」を定めることとしました。

本調査は、この方針に基づき、在宅における介護の現状を分析し、介護者が就労を継続するために必要な介護サービスの種類・量を把握することを目的に実施するものです。

２．実施時期

令和元年 12 月～令和 2 年 3 月

３．対象者

在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方

４．調査対象者数

600 人程度（国が望ましいとしているサンプルサイズに基づく）

５．調査方法

要支援・要介護認定の更新時に行う認定調査に合わせ、認定調査員による聞き取り調査にて実施

６．調査項目

10 項目（国が提示しているサンプルを参考に決定、別紙参照）

７．スケジュール

令和元年 12 月～令和 2 年 3 月・・・調査実施

令和 2 年 4 月 ・・・・・・・・・・分析

８．分析方法

国から提供された分析ソフトによる

出雲市　在宅介護実態調査　調査票

被保険者番号〔１０００　　〕

【A 票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

１．調査対象者本人　　２．主な介護者となっている家族・親族
３．主な介護者以外の家族・親族　　４．調査対象者のケアマネジャー
５．その他

Ａ票　認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問１　世帯類型について、ご回答ください（１つを選択）

１．単身世帯　　２．夫婦のみ世帯　　３．その他

問２　ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（１つを選択）

１．ない　→ 問６を回答し、調査は終了です
２．家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない
３．週に１～２日ある
４．週に３～４日ある
５．ほぼ毎日ある
→ 問３～問６を回答し、Ｂ票へ

問３　主な介護者の方の性別について、ご回答ください（１つを選択）

１．男性　　２．女性

問４　主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（１つを選択）

１．２０歳未満　　２．２０代　　３．３０代
４．４０代　　５．５０代　　６．６０代
７．７０代　　８．８０歳以上　　９．わからない

問５　ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

１．主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
２．主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）　　３．主な介護者が転職した
４．主な介護者以外の家族・親族が転職した　　５．介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
６．わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

●ここから再び、全員に調査してください。

問６　現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1 つを選択）

１．入所・入居は検討していない　　２．入居・入所を検討している
３．すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

●問２で「２.」～「５.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にＢ票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

●「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人（調査対象者の方）にご回答・ご記入をお願いしてください（ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です）。

B票　主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入いただく項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入（調査票の該当する番号に○）をお願いいたします。

問１　主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1 つを選択）

1．フルタイムで働いている
2．パートタイムで働いている　→ 問２～問４へ
3．働いていない
4．主な介護者に確認しないと、わからない　→ 問４へ

※「パートタイム」とは、「１週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問２　問１で「１.」「２.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1．特に行っていない
2．介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている
3．介護のために、「休暇（年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4．介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5．介護のために、２～４以外の調整をしながら、働いている
6．主な介護者に確認しないと、わからない

問３　問１で「１.」「２.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（１つを選択）

1．問題なく、続けていける
2．問題はあるが、何とか続けていける
3．続けていくのは、やや難しい
4．続けていくのは、かなり難しい
5．主な介護者に確認しないと、わからない

●ここから再び、全員の方にお伺いします。

問４　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（３つまで選択可）

〔身体介護〕

1．日中の排泄
2．夜間の排泄
3．食事の介助（食べる時）
4．入浴・洗身
5．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
6．衣服の着脱
7．屋内の移乗・移動
8．外出の付き添い、送迎等
9．服薬
10．認知症状への対応
11．医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）

〔生活援助〕

12．食事の準備（調理等）
13．その他の家事（掃除、洗濯、買い物　等）
14．金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15．その他
16．不安に感じていることは、特にない
17．主な介護者に確認しないと、わからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

分析の例

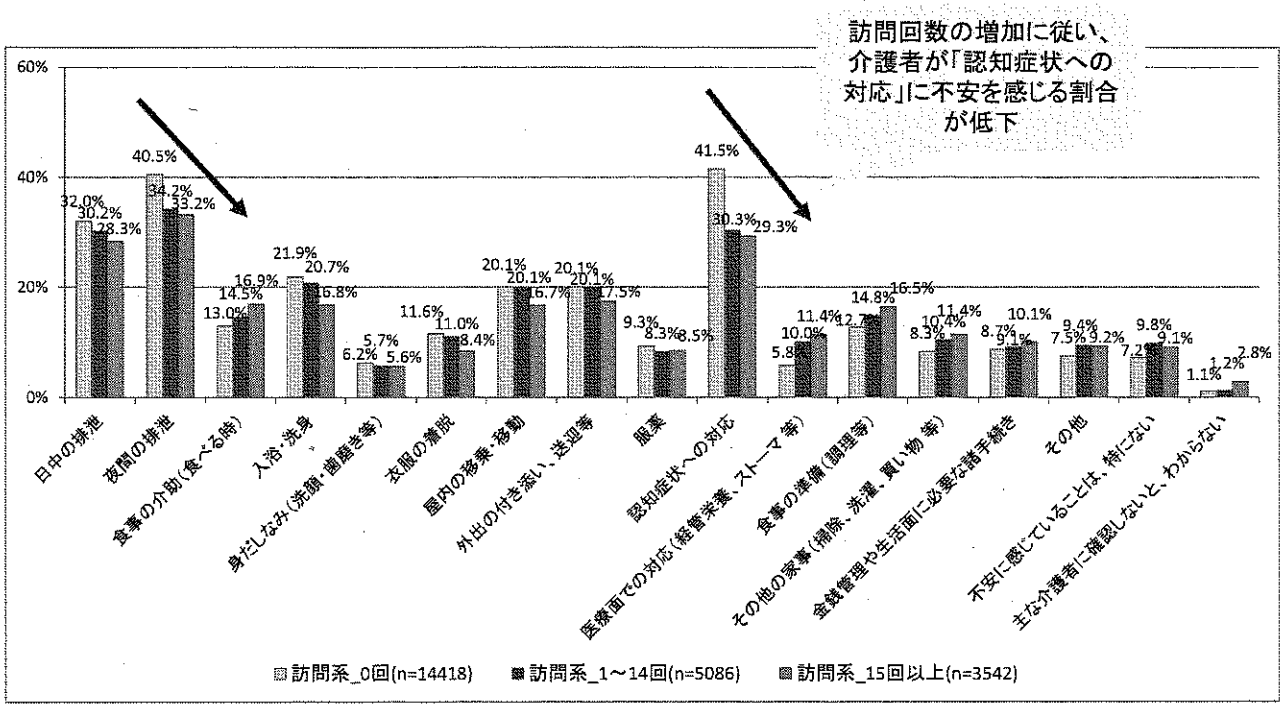
検討テーマ1 ：在宅限界点の向上のための支援・サービス提供体制の検討【集計結果の傾向④】

「訪問回数の増加」に伴い、介護者の「認知症状への対応」「夜間の排泄」の不安が軽減

■ 在宅生活の継続に向けて、介護者が不安に感じている介護としては「認知症状への対応」と「夜間の排泄」が高い傾向がみられました。

■ 「介護者が不安に感じる介護」と「訪問系サービスの利用回数」の関係をみると、訪問系サービスの利用回数の増加とともに、「認知症状への対応」と「夜間の排泄」について、介護者の不安が軽減する傾向がみられました。

図表　サービス利用回数と介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



⇒ 自動集計分析ソフト出力（P. 21）

現段階における第８期計画策定に向けてのスケジュール(案)　（別紙３）

	市		県		国
令和元年 11月14日(木)	**令和元年度第2回出雲市介護保険運営協議会**				
12月	在宅介護実態調査の実施				
令和2年 1月	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施				
2月	介護給付部会、地域支援部会の開催		市町村への情報提供連絡会等の開催		・第８期計画に関する基本的考え方の提示
3月12日(木)	**令和元年度第3回出雲市介護保険運営協議会**				
令和2年度 4月	調査分析				
5月	**第1回出雲市介護保険運営協議会 (調査分析報告等)**				・見える化システム推計ツール(暫定版)の情報提供
6月	各部会の開催				・基本指針(案)の提示
7月	サービス見込量等作業開始		市町村への情報提供連絡会等の開催		・成立した法律を踏まえた見える化システム推計ツール(確定版)の情報提供
8月	**第2回出雲市介護保険運営協議会**				
9月	各部会の開催		事業支援計画の策定作業		
10月	サービス見込量・保険料の設定作業				
11月	**第3回出雲市介護保険運営協議会** **事業計画(素案)策定**		市町村と国との調整		都道府県との調整
12月	**事業計画素案・議会報告** **パブリックコメント募集・広報**				
1月	**パブリックコメント結果発表HP** **事業計画素案修正・協議** **第4回出雲市介護保険運営協議会**				介護報酬改定率等の係数設定
2月	**事業計画の議会報告及び介護保険条例改正議案の提案**		事業支援計画を議会に報告		
3月	**事業所向け説明会**				
令和3年度 4月	**第8期介護保険事業計画スタート**				

※地域包括ケア「見える化システム」とは、市町村における計画策定・実施を支えるために「介護・医療の現状分析・課題抽出支援」「介護サービス見込み量等の将来推計支援」「介護・医療関連計画の実行管理支援」の機能を提供する。

資料 ２

第７期計画に係る成果指標の一部見直しについて

１．成果指標設定の目的

本市では、第７期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を着実に進めていくため、毎年度、成果指標を設定し、ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理を行います。

介護保険運営協議会及び各部会において、計画に基づく施策の実施状況を点検・評価し、その結果を公表するとともに、取組の改善を図っていきます。

２．成果指標の一部見直しについて

成果指標については、昨年度設定した成果指標をベースに別紙のとおり修正等を行う。

・１指標の修正（指標番号 14）　令和２年度～
・１指標を削除（指標番号 18）　令和元年度～

３．今後のスケジュール

令和２年２月　令和元年度の検証・暫定評価（第 2 回介護給付部会・地域支援部会）
令和２年３月　令和元年度の検証・暫定評価（第 3 回介護保険運営協議会）
令和２年５月　令和元年度の評価の確定（令和２年度第１回介護保険運営協議会）

平成30年度～令和元年度　　（別紙１）

大項目	第６章　安心して暮らせるまちづくり		
中項目	２　認知症ケアの推進		
指標設定のポイント	認知症の正しい理解に向けた啓発活動や地域で認知症の人やその家族を支える取組が行われているか評価する。		
指標番号	14	成果指標	認知症サポーター養成講座のステップアップとして、地域住民や企業等が認知症の方やその家族を支援するボランティアを養成しているか。 実績：オレンジサポーター養成数 平成29年度 1団体　平成30年度　2団体 目標：令和元年度 2団体
評価段階	達　成　状　況		
5	目標を上回ったほか、認知症の方等の支援が取り組まれている。		
3	目標を達成した。		
1	目標を大きく下回った。		

令和2年度

大項目	第６章　安心して暮らせるまちづくり		
中項目	２　認知症ケアの推進		
指標設定のポイント	認知症の正しい理解に向けた啓発活動や地域で認知症の人やその家族を支える取組が行われているか評価する。		
指標番号	14	成果指標	認知症サポーター養成講座のステップアップとして、地域住民や企業等が認知症の方やその家族を支援するボランティアを養成しているか。 実績：オレンジサポーター養成数 平成29年度 1団体　平成30年度　2団体 目標：令和元年度 2団体　令和2年度　4団体
評価段階	達　成　状　況		
5	目標を上回ったほか、認知症の方等の支援が取り組まれている。		
4	目標を上回った。		
3	目標を達成した。		
2	目標の半数は達成した。		
1	目標を大きく下回った。		

（別紙２）

令和元年度以降の成果指標から削除する

大項目	第７章　介護サービス基盤の整備		
中項目	２　介護サービスの基盤整備目標		
指標設定のポイント	第７期計画中に介護サービスの基盤整備を計画的に進め、必要数を整備（事業者選定）することができているかを検証する。		
指標番号	18	成果指標	施設整備にあたっては、参入を検討する事業者へ広く周知し公募を行ったか。
評価段階	達　成　状　況		
5	広報誌やホームページ等により広く周知したほか、対象事業者を把握し、確実な周知を行い、多くの応募があった。		
3	広報誌やホームページ等により広く周知を行った。		
1	既存事業者のみの周知を行った。		

報告事項

（1）介護人材確保・定着に係る施策に関する
　　アンケート集計結果について　（資料3）

（2）あんしんノート（出雲市版終活支援ノート）
　　の配布について　（資料4）

（3）「認知症ケア・フォーラムinいずも」の開催
　　について　（チラシ）

資料 ３

介護人材確保・定着に係る施策に関するアンケート集計結果について

１．調査目的

市内介護サービス事業所における介護従事者の実態把握を行うとともに介護人材の確保・定着に向けた効果的な取組を検討するため、市内全ての介護サービス事業所（居宅介護支援、福祉用具販売・貸与事業所を除く）を対象としたアンケート調査を実施した。

２．調査概要

⑴調査項目（調査時点：令和元年９月１日現在）

①事業所における職員の実人員について
（年齢別・性別・雇用形態別、職種（資格）別・雇用形態別）

②職員の採用・離職状況について（過去１年間の採用に係る希望・実績並びに離職者数、主な採用ルート）

③介護人材確保・定着に関する問題意識について

④介護人材確保・定着に向けて、行政に期待したい支援策

⑤介護人材確保・定着についての意見・提案（自由記載）

⑵対象事業所　297 事業所

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、特定施設入居者生活介護（養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅）

⑶調査方法

以下の方法により、サービス種類毎にアンケート調査を依頼した。

①出雲地域介護保険サービス事業者連絡会（介サビ連）
連絡会のメールにより調査依頼し、各事業所からはFAX（市高齢者福祉課宛て）により回答を求めた。

②介サビ連未加入事業所
別途、郵送により調査依頼し、各事業所からはFAX（市高齢者福祉課宛て）により回答を求めた。

⑷調査期間　令和元年９月 20 日（金）～10 月４日（金）

３．集計結果（速報値）　　別紙のとおり

介護人材確保・定着に係る施策に関するアンケート集計結果（速報値）

■回収状況　※令和元年 10 月 23 日時点

２４３事業所／２９７事業所（回収率：８１．８%）

サービス種類	依頼件数	回収件数	回収率%
訪問介護	４６	４０	８７．０
訪問入浴介護	４	４	１００．０
訪問看護	１６	１５	９３．８
訪問リハビリテーション	４	４	１００．０
通所介護	３８	３３	８６．８
通所リハビリテーション	７	６	８５．７
短期入所生活介護	２５	１１	４４．０
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	１	１	１００．０
地域密着型通所介護	４７	３３	７０．２
認知症対応型通所介護	１１	１１	１００．０
小規模多機能型居宅介護	１７	１６	９４．１
看護小規模多機能型居宅介護	１	１	１００．０
認知症対応型共同生活介護	３７	３５	９４．６
地域密着型介護老人福祉施設	３	３	１００．０
介護老人福祉施設	１９	１７	８９．５
介護老人保健施設	９	６	６６．７
特定（養護老人ホーム）	２	１	５０．０
特定（軽費老人ホーム）	２	１	５０．０
特定（有料老人ホーム）	６	３	５０．０
特定（サービス付き高齢者向け住宅）	２	２	１００．０
合計	２９７	２４３	８１．８

介護人材確保・定着に係る施策に関するアンケート集計結果について（概要）

実施時期	令和元年(2019)9 月 20 日　調査票配布 令和元年(2019)10 月 4 日　回収締切
実施手法	メール送信 or 郵送配布　FAX 回答
対象者	市内介護サービス事業所（居宅介護支援、福祉用具販売・貸与事業所を除く）297 事業所
回収数（回収率）	243 票（回収率：81.8%）

質問	回答の特徴
１．職員の実人数	
（１）年齢別・性別・雇用形態別	
①正規職員	【年齢別】・最多が 40 代 28.2%。30 代 25.7%。 65 歳以上の職員も 3.5%。 【男女別】・女性 72%、男性 28%。
②非正規職員	【年齢別】・最多が 65 歳以上 26.8%。60～64 歳 19.9%。 【男女別】・女性 90%、男性 10%。
（２）職種（資格）別・雇用形態別	【正規職員】・最多が、介護福祉士 842 人。次いで初任者研修修了者 338 人、資格なし 150 人。 【非正規職員】・最多が、初任者研修修了者 518 人、次いで介護福祉士 330 人、資格なし 250 人。
２．採用・離職状況	
（１）採用希望と実績 【正規職員】	・全体平均の充足率 70.4%。 ・最低は、実務研修修了者が 37%。次いで、資格なしが 57%、介護支援専門員が 65%。
（２）採用希望と実績 【非正規職員】	・最低は、介護支援専門員 0%。 次いで、実務者研修修了者 22%、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 50%。
（３）離職者の状況	【自己都合】・正規・非正規を問わず、最多は介護福祉士 107 人。 次いで、初任者研修者 62 人、資格なし 54 人、看護師等 39 人。
（４）主な採用ルート	・最多が、ハローワーク 34.5%。次いで従業者からの紹介 19%。 ・最少は、大学 0.4%、実習生 0.9%、高校 1.6%となっており、学生の採用率が低い。
３．問題意識	・最多が、「求人への募集が無く事業所で欲しい人材を選べない」42.4%。 ・次いで、「必要とする職員（有資格・無資格問わず）の絶対数が確保できないこと」16.9%、 「求職者(職員)が求める賃金水準を支払う経営的な余力がないこと」10.4%。
４．行政に期待したい支援	
（１）順位	・最多は、「経費」203。 次いで、「啓発」189、「研修」158。
（２）支援内容	・「啓発」では、介護職場のイメージアップが 188。 ・「研修」では、介護助手を輩出するための介護の入門的研修の開催が 137。 ・「経費」では、資格取得に必要は試験費用・研修受講費の助成が 85。

１．貴事業所の状況について

貴事業所における職員の実人員（令和元年9月1日現在）を回答してください。

（１）年齢別・性別・雇用形態別

①正規職員の人数と年齢構成・性別

区分	人数	構成比	男性	女性
20代以下	327	15.8%	127	200
30代	531	25.7%	201	330
40代	583	28.2%	145	438
50代	424	20.5%	57	367
60～64歳	129	6.2%	21	108
65歳以上	72	3.5%	19	53
合計	2,066		570	1,496

②非正規職員の人数と年齢構成・性別

区分	人数	構成比	男性	女性
20代以下	73	4.8%	18	55
30代	235	15.3%	20	215
40代	251	16.4%	15	236
50代	257	16.8%	19	238
60～64歳	305	19.9%	37	268
65歳以上	410	26.8%	46	364
合計	1,531		155	1,376

（２）職種（資格）別・雇用形態別

職種（資格）	正規職員	非正規職員
介護福祉士	842	330
介護職員実務者研修修了者	120	92
介護職員初任者研修修了者	338	518
資格なし	150	250
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	122	14
介護支援専門員	143	31
管理栄養士・栄養士	38	5
生活相談員・社会福祉士	72	16
合計	1,825	1,256

２．職員の採用・離職状況について
過去１年間（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の採用・離職状況

（１）事業所側の採用希望と実績【正規職員】

職種（資格）	採用希望	実績	不足数	充足率
介護福祉士	158	109	49	69.0%
介護職員実務者研修修了者	19	7	12	36.8%
介護職員初任者研修修了者	33	36	-3	109.1%
資格なし	46	26	20	56.5%
看護師・准看護師	56	38	18	67.9%
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	18	17	1	94.4%
介護支援専門員	17	11	6	64.7%
管理栄養士・栄養士	6	4	2	66.7%
生活相談員・社会福祉士	2	2	0	100.0%
合計	355	250	105	70.4%

（２）事業所側の採用希望と実績【非正規職員】

職種（資格）	採用希望	実績	不足数	充足率
介護福祉士	35	52	-17	148.6%
介護職員実務者研修修了者	9	2	7	22.2%
介護職員初任者研修修了者	74	53	21	71.6%
資格なし	55	54	1	98.2%
看護師・准看護師	37	30	7	81.1%
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	6	3	3	50.0%
介護支援専門員	3	0	3	0.0%
管理栄養士・栄養士	2	2	0	100.0%
生活相談員・社会福祉士	0	0	0	－
合計	221	196	25	88.7%

（３）離職者の状況

職種（資格）	自己都合		その他	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
介護福祉士	77	30	7	3
介護職員実務者研修修了者	3	2	0	1
介護職員初任者研修修了者	23	39	3	1
資格なし	27	27	4	8
看護師・准看護師	16	23	8	3
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	5	0	0	0
介護支援専門員	8	2	1	0
管理栄養士・栄養士	1	0	1	0
生活相談員・社会福祉士	4	0	0	0
合計	164	123	24	16

（４）主な採用ルートについて選択してください。（主なもの３つまで）

項目	回答数	比率
ハローワーク	193	34.5%
従業者からの紹介	106	19.0%
知人	79	14.1%
専門学校	43	7.7%
人材紹介会社	39	7.0%
インターネット	33	5.9%
福祉人材センター	21	3.8%
新聞・広告	16	2.9%
就職フェア	13	2.3%
高校	9	1.6%
実習生	5	0.9%
大学	2	0.4%
合計	559	

３．介護人材確保・定着に関する問題意識について最も近いものを１つ選んでください。

項目	回答数	比率
求人への募集がなく事業所で欲しい人材を選べない	98	42.4%
必要とする職員（有資格・無資格問わず）の絶対数が確保できないこと	39	16.9%
求職者（職員）が求める賃金水準を支払う経営的な余力がないこと	24	10.4%
中堅社員が育っていないこと	22	9.5%
必要とする有資格者の職員の絶対数が確保できない	17	7.4%
事業所と求職者の勤務条件のミスマッチ（勤務時間等や夜勤等）による勤務シフト管理が困難	17	7.4%
その他	8	3.5%
採用後の離職率が高いこと	6	2.6%
合計	231	

４．介護人材確保・定着に向けて、行政に期待したい支援について、上位３つに順位をつけて、具体的な支援についてそれぞれの区分に１つ○を付けてください。

（１）行政に期待したい支援について

区分	順位			合計
	1位	2位	3位	
１．経費	119	52	32	203
２．研修	10	77	71	158
３．啓発	59	63	67	189
４．外国人人材	6	2	9	17
５．その他	20	8	8	36
合計	214	202	187	603

（２）行政に期待したい支援内容（回答数の多い順）

区分	支援内容	回答数	比率
啓発	介護職場のイメージアップ	188	28.2%
研修	介護助手を輩出するための介護の入門的研修の開催	137	20.5%
経費	資格取得に必要な試験費用・研修受講費の助成	85	12.7%
経費	求人活動に係る経費の助成	71	10.6%
経費	ICT化に向けた導入経費の助成	53	7.9%
その他	その他	35	5.2%
研修	その他具体的に	24	3.6%
外国人人材	具体的に	21	3.1%
経費	その他具体的に	19	2.8%
啓発	その他具体的に	18	2.7%
経費	介護ロボット導入経費の助成	16	2.4%
合計		667	

資料　4

あんしんノート（出雲市版終活支援ノート）の配布について

1. 目的

高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも安心して自分らしく暮らしつづけるために、自身の過去を振り返り、価値観や大切にしていることなどを基に、医療や介護が必要となった際、どのような治療・介護を望むかを予め考え、家族や代理意思決定者及び医療・介護従事者と繰り返し話し合うことで、本人とその支援者が想いを共有し、可能な限り本人の望む医療・介護を実現するためのきっかけとなることを目的として作成する。

2. 改訂版作成経緯

○　H30.3 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン改訂により、ACP※の重要性が強調され、国においても愛称を「人生会議」と定め普及・啓発に取り組んでいるところ。

※　Advance Care Planning（アドバンス・ケア・プランニング：人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス）

○　市においては、以前からあんしん支援センターが作成した「あんしんノート」（H24 作成、H26 改訂）があるが、その残部も少なくなってきたことから、今回 ACP の要素を取り入れた改訂版を作成することとなった。

○　改訂にあたり、在宅医療・介護連携推進連絡会議委員や地域の高齢者から聴取した意見を内容に反映させ、市とあんしん支援センターが協議のうえ検討

3. 主な改訂内容

○　ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の要素を取り入れる。
（自身の価値観を基に代理意思決定者を決め、自身が望む医療・介護を繰り返し話し合う）

○　最終頁に「これからの章」を追加
（やってみたいこと・伝えたいことなどこれからの人生に目を向ける頁を加えることで、前向きな気持ちであんしんノート記入に取り組むことができるようにする）

4. あんしんノート概要

項目	概要	
規格・ページ数	A4・16 頁　マット 76.5k	
印刷部数・経費	1,500 部（199,650 円／1 冊あたり 133 円）	
発行者	出雲市・高齢者あんしん支援センター	
内容	表紙（1P）	医療の章（2P）
	はじめに（1P）	介護の章（1P）
	わたしのこと（1P）	財産の章（1P）
	私のプロフィール（2P）	葬送の章（1P）
	繋がりの章（2P）	これからの章（1P）
	家系の章（2P）	裏表紙（1P）

5. 広報（配布ルール）

手段（媒体）・対象	方法	備考
拠点配布	市役所本庁・行政センター、各あんしん支援センター	冊子希望者は拠点で受け取り一人 2 冊まで
市ホームページ	入手方法や電子データを掲載	電子データは全体版と分割版を掲載し、商用を除き自由にダウンロード可
市長定例記者会見	11 月 25 日開催予定 市役所記者クラブ加盟社にリリース	11 月 30 日＿人生会議の日に合わせて発表
広報いずも	特集記事として、必要性や活用方法を掲載	R 元年度＿在宅医療特集記事（12/20 号） R2 年度＿ACP 特集記事（11/20 号予定）
社協だより	あんしん支援センターからのお知らせ	広報いずも掲載時期と重複しない時期を検討
在宅医療座談会	G コース（ACP、終活、緩和ケア）として使用	参加者に配布
新規 1 号被保険者	あんしんノート説明チラシを作成、保険証送付時に同封	月 1 回新規 1 号被保険者に保険証、介護保険パンフを送付
医療・介護事業所	冊子を郵送（1 冊） ・居宅介護支援事業所 ・入所施設 ・訪問看護ステーション ・病院	利用者のケアプラン立案の補助ツール、本人の意思決定支援として活用 事業所からの希望に応じて冊子追送
郵送（市民のみ）	希望者に郵送（送料希望者負担） 送付先等を電話で申し込み（2 冊まで）	インターネット未利用者かつ拠点配布場所来所困難者を想定

上記のほか、高齢者クラブ連合会、民生委員児童委員協議会等、在宅医療座談会の周知先に対し、在宅医療座談会開催に併せ、あんしんノートを周知する。

6. 他市の状況

県内 8 市では松江市（H29.12）が作成、市役所・支所で配布

～出雲市版終活支援ノート～

あんしんノートを希望者にお渡しします

無料

出雲市では、住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らしつづけるために、医療や介護に関するあなたの想いを普段から考え、それを家族や友人など、あなたが信頼する人と話し合うきっかけになることを目的として「あんしんノート」を作成し、希望者に無料でお渡ししています。

これまでの人生を振り返り、好きなものや大切にしていることなど、あなたの価値観を基に、医療や介護が必要になったとき、どのように過ごしたいか考え、話し合ってみませんか。

なお、「今は考えたくない」「話したくない」という気持ちも、あなたの大切な考え方です。

どんな内容？

自身のプロフィールや家系図のほか、医療や介護が必要になったときにどのような治療やケアを受けたいか、選択肢の中から選べるようになっています。

配布場所などは裏面をご覧ください

お問い合わせ

出雲市役所　健康福祉部　医療介護連携課

電話：(0853) 21-6121　FAX：(0853) 21-6749

Mail：iryou-kaigo@city.izumo.shimane.jp

どこでもらえる？

窓口で受け取る

出雲市役所医療介護連携課または各行政センター

名　称	電話番号	所在地
本庁医療介護連携課	21－6121	今市町 70
平田行政センター　市民サービス課	63－5567	平田町 951-1
佐田行政センター　市民サービス課	84－0111	佐田町反辺 1747-6
多伎行政センター　市民サービス課	86－3111	多伎町小田 74-1
湖陵行政センター　市民サービス課	43－1212	湖陵町二部 1320
大社行政センター　市民サービス課	53－3116	大社町杵築南 1397-2
斐川行政センター　市民サービス課	73－9110	斐川町荘原 2172

高齢者あんしん支援センター

名　称	電話番号	所在地
出雲高齢者あんしん支援センター	25－0707	今市町 543 出雲市社会福祉センター内
平田高齢者あんしん支援センター	63－8200	平田町 2112-1 平田福祉館内
佐田高齢者あんしん支援センター	84－0019	佐田町反辺 1747-6 佐田行政センター内
多伎高齢者あんしん支援センター	86－7122	多伎町小田 50　多伎地域福祉センター 「うなばら会館」内
湖陵高齢者あんしん支援センター	43－7611	湖陵町三部 1352 湖陵福祉センター内
大社高齢者あんしん支援センター	53－3232	大社町杵築南 1397-2 大社行政センター内 2 階
斐川高齢者あんしん支援センター	73－9125	斐川町上荘原 1766-2 出雲市社会福祉協議会斐川支所内

インターネットから

出雲市のホームページ内から検索できます！

あんしんノート　検索

郵送（出雲市民の方のみ）

（配布場所まで行けない・インターネットを利用していない方）

市役所医療介護連携課までお電話ください。送付先住所、氏名、連絡先電話番号、希望冊数（お一人 2 冊まで）を電話でお伝えください。送料着払い（1 冊：201 円、2 冊：236 円）でお送りします。

☎(0853) 21－6121（市役所医療介護連携課）

出雲市合併15周年記念

～認知症になっても笑顔で暮らせるまちづくり～

in いずも

認知症ケアフォーラム

令和元年 11月30日(土)

申込不要 参加費無料

手話通訳あり

13:30～16:30 (13:00開場)

出雲市役所1階 くにびき大ホール

第1部 基調講演

演題 **認知症になっても安心して暮らせるまちづくり**

～地域活動を通した認知症ケアに向けて～

講師 社会福祉法人東翔会
グループホームふぁみりえ
ホーム長
大谷 るみ子 氏

医療法人東翔会東原整形外科病院(福岡県大牟田市)看護部長を経て、2001年から現職。
1996年、デンマーク日欧文化交流学院で短期福祉研修を受けて以降、現在まで毎年デンマークに赴き、高齢者福祉や認知症ケア等について学ぶ。
日本認知症ケア学会評議員、福岡県高齢者グループホーム協議会会長ほか、各種団体、厚生労働省、行政等の認知症ケアに係る委員を歴任。
大牟田市と協働で認知症コーディネーターの育成、絵本を通した啓発活動、行方不明者を想定した模擬訓練など、地域全体で認知症の人を支えるまちづくりに取組む。
2008年11月NHKプロフェッショナル仕事の流儀に出演。2019年9月認知症ケアのプロSPで追加取材を交え、再出演。

第2部 事例発表

テーマ **認知症になっても自分らしく暮らしていくための支援と地域づくり**

出雲市における地域活動の取組事例

1. 高浜地区社会福祉協議会
   会長 是光 章一 氏
2. RUN伴(ラントモ)しまね RUN伴(ラントモ)しまね実行委員会
   実行委員長 小林 央 氏
3. 第一生命保険株式会社
   島根支社出雲営業オフィス
   営業部長 土田 健嗣 氏
4. 医療法人 エスポアール出雲クリニック
   院長 高橋 幸男 氏

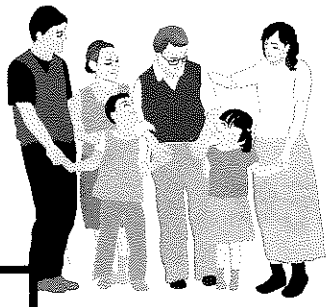
共催／出雲市、フーリングいずも

後援／出雲医師会、出雲市歯科医師会、出雲市社会福祉協議会、出雲市認知症キャラバン・メイト連絡会、出雲地域介護保険サービス事業者連絡会、出雲地域認知症グループホーム連絡協議会、島根県、しまね認知症疾患医療センター、日本ホームヘルパー協会島根県支部、認知症の人と家族の会島根県支部

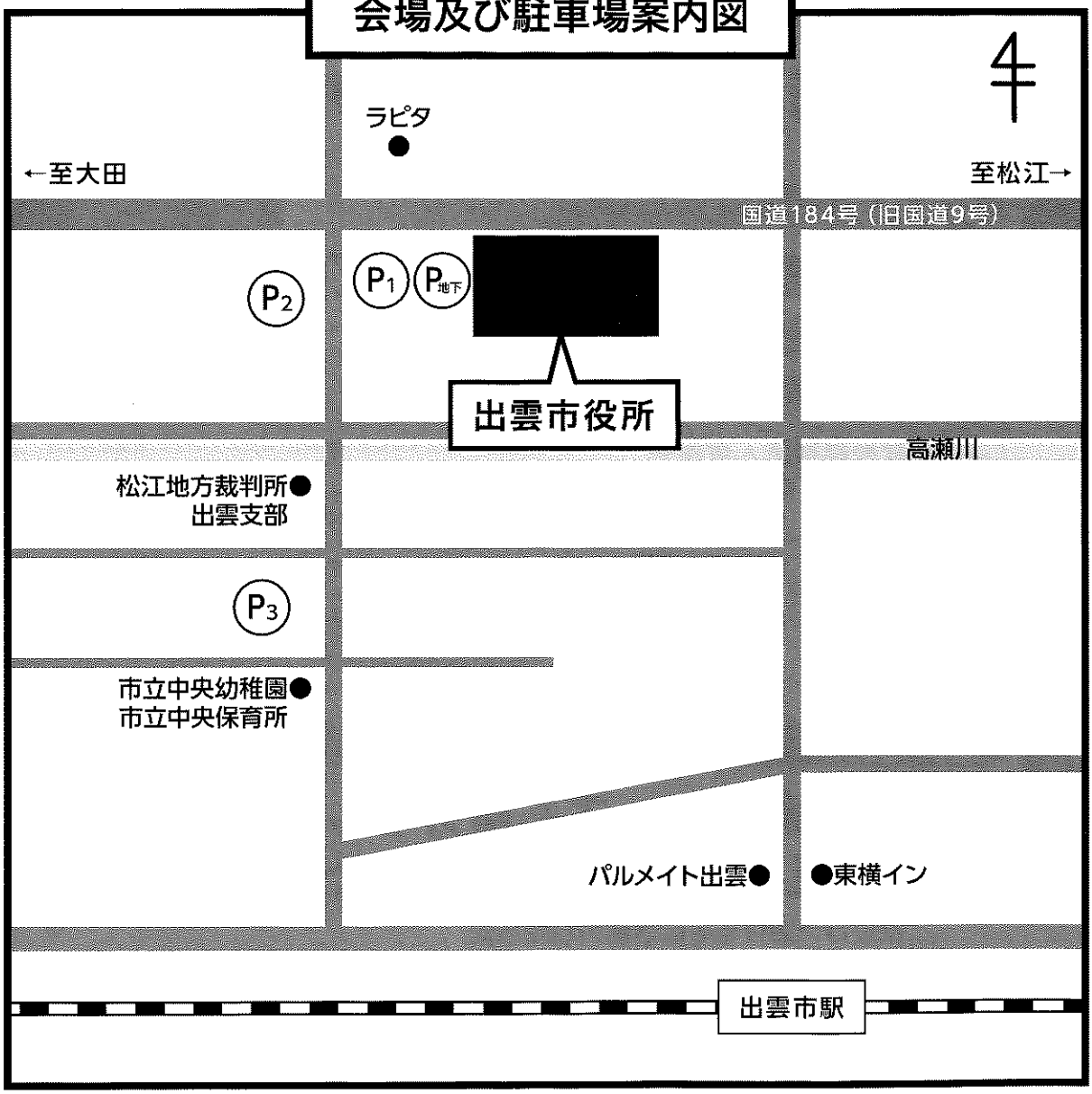
事務局／出雲市医療介護連携課 TEL.0853-21-6106 FAX.0853-21-6749

認知症ケアフォーラム in いずも

認知症になっても
笑顔で暮らせるまちづくり



会場及び駐車場案内図



フォーラム会場：出雲市役所　1階　くにびき大ホール（出雲市駅から徒歩10分）

駐車場：
- 第1駐車場（P1）……出雲市役所 西側駐車場
- 地下駐車場（P地下）…出雲市役所 地下駐車場
- 第2駐車場（P2）……出雲市役所 第2駐車場
- 第3駐車場（P3）……出雲市立中央保育所・中央幼稚園北側駐車場